

令和5年度 学生の学修時間・学修行動の把握に関する実態調査 <分析報告書>

1. 調査概要

- ・実施対象：全学部生
- ・実施時期：令和5年11月27日(月)～12月8日(金)
- ・実施方法：Web アンケート方式 (ゼミナール内で実施)
- ・回答率：61.0% (内訳は表1参照のこと)

表1 回答状況 ※在籍者数 1,198人 (12/14時点)

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 全体 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 回答数 | 213 | 201 | 193 | 124 | 731 |
| (回答率) | (67.2%) | (68.6%) | (66.3%) | (41.8%) | (61.0%) |

(参考) 回答率推移：63.0%(R4), 66.9%(R3)

2. 集計結果

令和5年度の「学修時間・学修行動の把握に関する実態調査」の結果は表2のようにまとめられる。

表2 基本統計量

| 項目 | R5 | R4 | R3 |
|-----------------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| キャリア別コース制の所属割合 | 71.3% | 69.9% | 72.3% |
| 課外活動団体(クラブ活動)の所属割合 | 26.1% | 29.5% | 33.0% |
| 課外活動団体(クラブ活動)に充てた時間 (1週間あたり平均) | 170.8分 | 150.9分 | 35.2分 |
| 地域活動やボランティア活動に充てた時間 (1週間あたり平均) | 12.6分 | 12.4分 | 7.3分 |
| アルバイト活動にあてた時間 (1週間あたり平均) | 638.0分 (10.63時間) | 635.1分 (10.58時間) | 584.0分 (9.73時間) |
| 家庭でのオンデマンド授業にかける時間 | - | 66.9分 | - |
| 読書時間(教科書以外の書籍, 1日あたり平均) | 28.0分 | 3.6分 | - |
| 家庭での学習時間(1日あたり平均) | - | 61.7分 | 69.6分 |
| 予習・復習にかける学習時間(1日あたり平均) | | | |
| 平日 | 38.4分 | 35.1分 | 39.2分 |
| 長期休業期間中(冬季休暇・春季休暇) | 30.0分 | 39.6分 | 43.4分 |
| 土曜日・日曜日・祝日 | - | 35.7分 | 41.7分 |
| 授業以外の勉強に充てた時間(1日あたり平均) | | | |
| 平日 | 33.5分 | 38.1分 | 37.8分 |
| 長期休業期間中(冬季休暇・春季休暇) | 35.2分 | 40.7分 | 38.2分 |
| 土曜日・日曜日・祝日 | - | 37.4分 | 37.1分 |

結果のポイントは次の通りである。

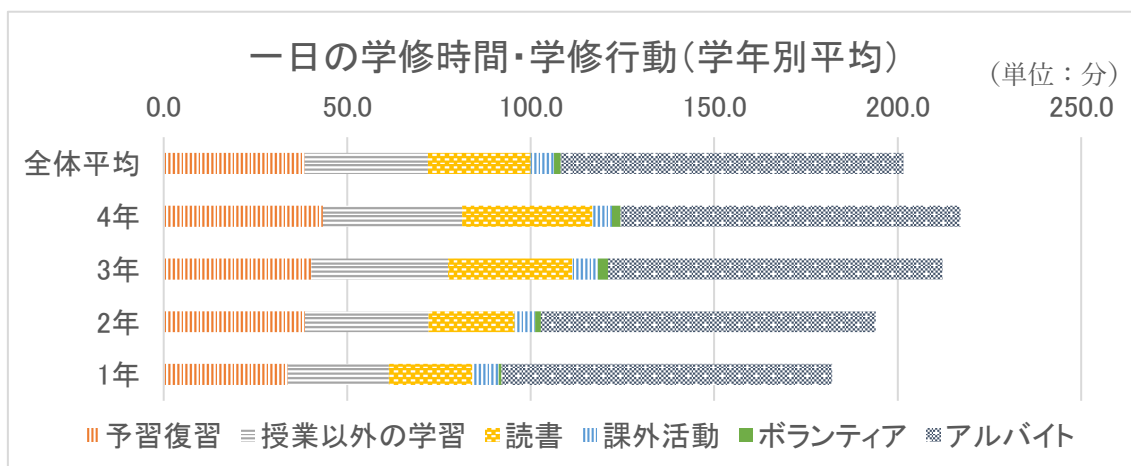
- 「課外活動団体（クラブ活動）に充てた時間」は、1週間あたりの平均時間が前年度より13.2%増加している（150.9分→170.8分）。
- 「アルバイト活動」については、1週間あたりの平均時間が前年度とほぼ同じ水準である。（635.1分→638.0分=10時間38分）
- 「予習・復習」、「授業以外の勉強（就職活動関連、資格取得）」の1日の学習時間合計(平日)は、前年度よりやや減少している（73.2分→71.9分）。
- 「読書時間」については、令和5年度から1日あたり平均をたずねる形式に変更している。1日あたりの読書時間は前年度より大幅に増加した（3.6分→28.0分）。

3. 本学学生の特徴

(1) 一日の学修時間・学修行動

本学学生の学修時間・学修行動を把握するため、調査データをもとに平日1日あたりの活動時間に換算し、学年別に分けて学修時間・学修行動をプロットした（図表1）。

図表1 本学学生の一日の学修時間・学修行動



| 学年 | 人数 | 予習復習 | 授業以外の学習 | 読書 | 課外活動 | ボランティア | アルバイト | 計 |
|----|-----|------|---------|------|------|--------|-------|-------|
| 全体 | 731 | 38.4 | 33.5 | 28.0 | 6.4 | 1.8 | 93.4 | 201.6 |
| 4 | 124 | 43.4 | 37.9 | 35.6 | 5.3 | 2.3 | 92.7 | 217.2 |
| 3 | 193 | 40.3 | 37.2 | 33.8 | 7.0 | 2.8 | 91.1 | 212.2 |
| 2 | 201 | 38.5 | 33.7 | 23.4 | 5.6 | 1.6 | 91.3 | 194.1 |
| 1 | 213 | 33.8 | 27.5 | 22.7 | 7.2 | 0.8 | 90.1 | 182.2 |

一日の学修時間・学修行動（学年別）について、次の特徴が読み取れる。

- 「予習・復習時間」と「授業以外の学習時間」は、学年が上がるにつれて増加する傾向にある。言い換えれば、1年生が学習にかける時間は他の学年よりも少ないといえる。
- 「読書時間」についても、学年が上がるにつれて増加する傾向にある。
- 「アルバイト時間」については、平均的には、どの学年も1日90分程度である。

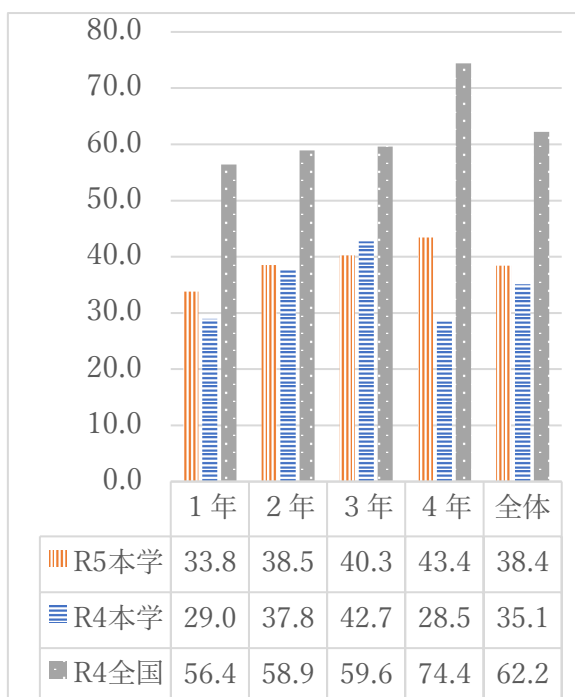
(2) 本学学生と全国の大学生との比較

本学でおこなわれている「学修時間・学修行動の把握に関する実態調査」と同様の調査は、全国の大学では全国大学生協連会による「学生生活実態調査」においておこなわれている¹。そのデータを参照して、学修時間・学修行動に関する本学学生と全国の大学生の状況を比較してみたい。

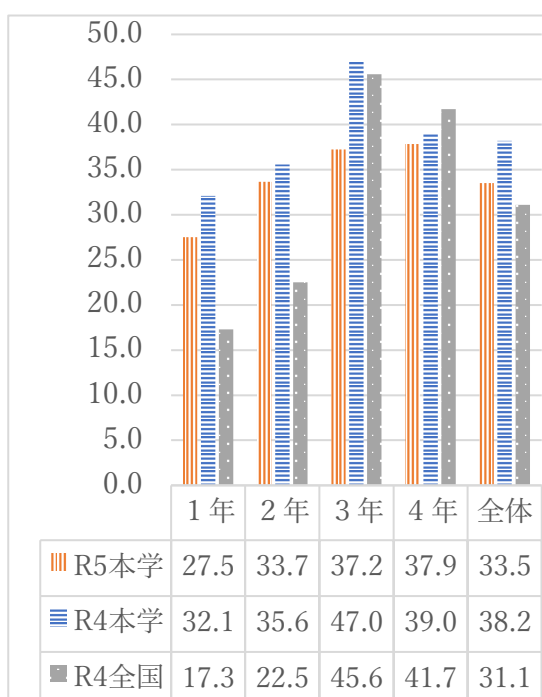
・「一日の予習・復習時間」と「一日の授業以外の勉強時間」

本学の令和5年度調査（R5本学）、令和4年度調査（R4本学）及び令和4年度全国調査（R4全国）について、平日における「1日の予習・復習時間」と「1日の授業以外の勉強時間」の状況を表したものがそれぞれ図表2と図表3である。

図表2 一日の予習・復習時間（単位：分）



図表3 一日の授業以外の勉強時間（単位：分）



¹ 全国大学生協連「第58回学生生活実態調査 概要報告」（2022年度）

<https://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>

学習時間に関して、本学学生の特徴は次のとおりである。

- 「予習・復習時間」については、全国の大学生より短い。本学の経年比較をすると、今年度の4年生は前年度の同学年より長く勉強時間をとっている。
- 「授業以外の学習時間」については、1・2年次は全国の大学生を上回るものの、3・4年次は全国の大学生を下回る。ただし、本学の全体平均は、全国平均を上回っている。この結果は、令和5年度、令和4年度とも同じ傾向である。
- 令和5年度の本学の4年生は、他の学年と比べて学習時間が長い傾向にある。前年度も3年生として、「授業以外の学習」に時間を費やしており、それが就職や資格取得につながっている可能性がある。

・「一日の読書時間」

「1日の読書時間」について、本学学生（令和5年度調査、令和4年度調査）と全国の大学生（令和4年度調査）の状況をまとめたものが表3である。

読書時間分布について見てみよう。1日の読書時間を0分と回答したのは、本学学生（R5本学）47.5%、全国の大学生（R4全国）46.4%である。1日の読書時間を60分以上（「60～120分未満」と「120分以上」）と回答したのは、本学学生（R5本学）16.6%、全国の大学生（R4全国）27.4%である。1日の読書時間の平均を見ても、本学学生28.0分、全国の大学生32.7分である。

読書離れの傾向は本学でも全国と同じような状況だが、読書をする学生に関しては、本学学生は全国の大学生より読書時間が短いといえる。

表3 一日の読書時間

| | R5 本学 | R4 本学 | R4 全国 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 0分 | 47.5% | 40.4% | 46.4% |
| 1～30分未満 | 18.9% | 56.8% | 9.0% |
| 30～60分未満 | 17.0% | 2.8% | 10.6% |
| 60～120分未満 | 12.4% | - | 18.7% |
| 120分以上 | 4.2% | - | 8.7% |
| 平均（分） | 28.0 | 3.6 | 32.7 |

以上

(参考資料) 学修時間・学修行動に関する学科・学年別分析とクラスター分析

1. 分析

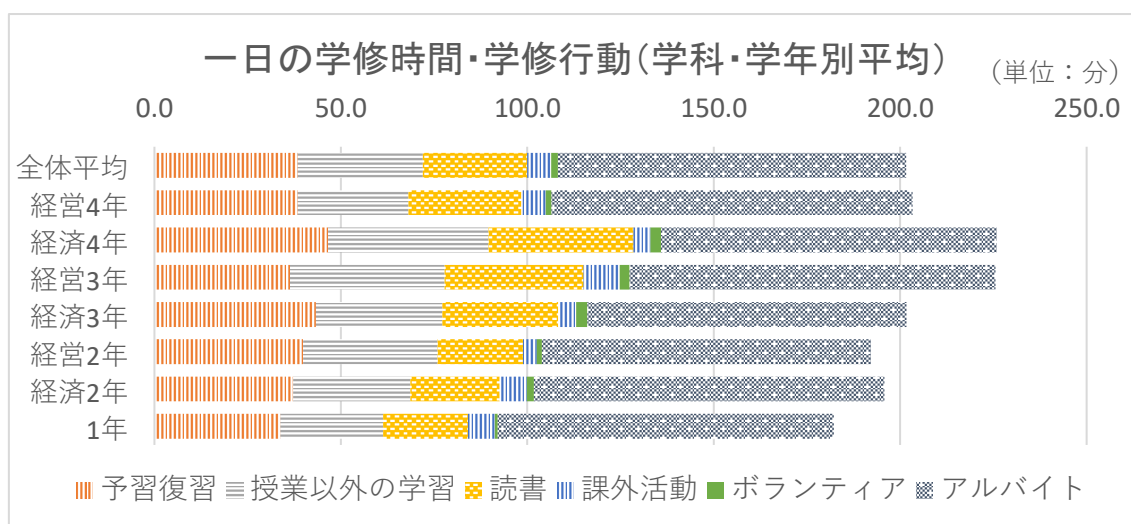
本学学生について、次の2点について分析をおこなう。

- ① 学科・学年別の学修時間・学修行動
- ② 学修時間・学修行動にもとづくクラスター分析

(1) 一日の学修時間・学修行動（学科・学年別）について

学年・学科別に一日の学修時間・学修行動をプロットしたものが図表4である。

図表4 一日の学修時間・学修行動（学科・学年別）



| 学科・学年 | 人数 | 予習復習 | 授業以外の学習 | 読書 | 課外活動 | ボランティア | アルバイト | 計 |
|-------|-----|------|---------|------|------|--------|-------|-------|
| 全体平均 | 731 | 38.4 | 33.5 | 28.0 | 6.4 | 1.8 | 93.4 | 201.6 |
| 経営4年 | 48 | 38.4 | 29.7 | 30.3 | 6.5 | 1.6 | 96.9 | 203.3 |
| 経済4年 | 76 | 46.6 | 43.0 | 38.9 | 4.5 | 2.8 | 90.1 | 225.9 |
| 経営3年 | 85 | 36.4 | 41.5 | 37.2 | 9.7 | 2.6 | 98.2 | 225.6 |
| 経済3年 | 108 | 43.3 | 33.9 | 31.1 | 4.8 | 3.0 | 85.6 | 201.7 |
| 経営2年 | 97 | 39.9 | 36.0 | 22.9 | 3.7 | 1.3 | 88.3 | 192.2 |
| 経済2年 | 104 | 37.2 | 31.4 | 23.9 | 7.3 | 1.9 | 94.0 | 195.8 |
| 1年 | 213 | 33.8 | 27.5 | 22.7 | 7.2 | 0.8 | 90.1 | 182.2 |

こちらのデータから読み取れる特徴は次の通り。

○学修時間（学修行動の合計時間）について、「経済4年」と「経営3年」は全体平均より25分ほど長く、「1年」は全体平均より20分ほど短い。この差は、「授業以外の学習」と「読書」にかける時間の違いが効いている。

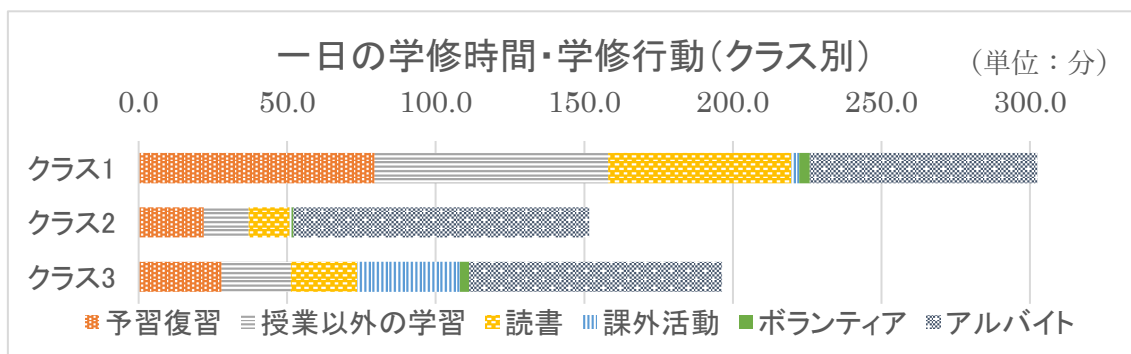
○図表1でも見られたように、学年が上がるにつれて学習時間（「予習・復習」と「授

業以外の学習」の合計)と読書時間が長くなる傾向がある。2年生・3年生については、学科の違いによる学習時間の差はほとんどみられない。

(2) 一日の学修時間・学修行動に基づくクラスター分析

学修行動 6 要素の活動時間に基づいてクラス分けをおこなった²。今回の分析では本学学生を3つのクラスに分けて特徴づけている。クラス別の1日の学修時間・学修行動をまとめたものが図表5である。

図表5 一日の学修時間・学修行動 (クラス別)



| クラス | 人数 | 予習復習 | 授業以外の学習 | 読書 | 課外活動 | ボランティア | アルバイト | 計 |
|-----|-----|------|---------|------|------|--------|-------|-------|
| 1 | 198 | 79.5 | 78.6 | 61.6 | 2.8 | 3.5 | 76.6 | 302.5 |
| 2 | 422 | 21.9 | 15.1 | 13.8 | 0.6 | 0.7 | 99.5 | 151.7 |
| 3 | 111 | 28.0 | 23.2 | 22.3 | 34.7 | 3.1 | 85.2 | 196.4 |

各クラスの特徴は次の通り。

- クラス1は、一日の学修時間が平均300分を超えるグループである。一日の学修時間のうち、「予習・復習時間」、「授業以外の学習時間」、「読書時間」に7割以上充てている。全体の27%を占める。【高活動・勉強優先】
- クラス2は、一日の学修時間が平均150分程度で、そのうちの2/3をアルバイトに充てている。全体の58%を占める。【低活動・アルバイト優先】
- クラス3は、課外活動に力を入れるグループである。一日の学修時間がほぼ全体平均(200分)に同じであるため、課外活動以外の学修時間は全体平均より少ない。全体の15%を占める。【課外活動優先】

令和4年度におこなったクラスター分析では、次のような3つのクラスが示されていた。

² k-Means クラスタリングの手法で、クラスター数3、試行回数1回でクラス分けをおこなった。昨年度の分析と合わせて、クラスター数3を採用している。

①「バランスのとれた学修活動」のクラス：全体の15%

②「低い学修活動」のクラス：全体の58%

③「勉強優先の高い学修活動」のクラス：全体の27%

上記の①、②、③は、令和5年度のクラス3、クラス2、クラス1に対応しており、その割合も同じである。本学の学生の特徴とみることができるかもしれない。

次に3つのクラスが、学科・学年にどのように分布しているのかを見てみよう。表4は、クラス分布（学科・学年別）を示している。

表4 クラス分布（学科・学年別）

| | 人数 | クラス1 | クラス2 | クラス3 |
|------|-----|------|------|------|
| 全体平均 | 731 | 27% | 58% | 15% |
| 経営4年 | 48 | 27% | 56% | 17% |
| 経済4年 | 76 | 37% | 53% | 11% |
| 経営3年 | 85 | 27% | 51% | 22% |
| 経済3年 | 108 | 31% | 57% | 11% |
| 経営2年 | 97 | 32% | 63% | 5% |
| 経済2年 | 104 | 26% | 53% | 21% |
| 1年 | 213 | 20% | 63% | 17% |

ここから読み取れる特徴は次の通り。

- クラス1（高活動・勉強優先）は、「経済4年」、「経済3年」、「経営2年」の3割以上でみられる。「1年」は全体の2割である。
- クラス2（低活動・アルバイト優先）は、どの学科・学年でも5割以上いる。「全体平均」でも6割近くいるが、「経営2年」と「1年」では6割以上いる。
- クラス3（バランスのとれた活動）は、「経営3年」と「経済2年」に2割以上いる。

2. 総評

本学学生の学修時間・学修行動に関して、次のようなことがわかった。

- 学年が上がるにつれて、学修時間が延びる。
- 学修時間・学修行動の特徴は、学科間で大きな差異があるわけではない。
- 学修時間・学修行動に関して、本学学生は前年度、今年度とも同じような3つのクラスに分けられる。

3つのクラスが本学学生の特徴であるとすれば、他のデータ（PROG結果、内定獲得状況など）と合わせて分析すること、追跡調査することが必要かもしれない。

以上